

議会報告

猪突猛進!!

発行責任者
後藤 幸吉

住所 常盤南町3番27号
電話 0972-20-0088

市民の皆さん こんにちは 有言実行をモットーに ただいま奮闘中!です



今般の震災により被災された皆様にお見舞い、お悔やみ申し上げますとともに、被災地が一日も早く復興されますことを心よりお祈り申し上げます。

佐伯市民の皆様、市議会議員の後藤幸吉です。私の考え方を含めた市政報告を行います。2月の臨時議会で、議案4号「佐伯市中心市街地活性化事業の推進の是非を問う住民投票条例案」を賛成7、反対20、欠席2で否決するという残念な結果になりました。

市長の意見書が添付され、議会に提案されましたが、この議案は、議員が大手前開発で討論し、議会が同事業に賛成か反対かを問うものではありませんでした。

簡単に言えば、これは大手前に51億円も使って良いのか、歴史資料館や(仮)城下町観光交流館は必要なのかを市民に十分説明し、住民投票をさせろというものだったと私は理解しています。

市長や市議会は市民の意見をもっと尊重すべき

議会基本条例を作成した私ども市議会議員が、地方自治法で認められた市民の直接請求を拒否する理由はありません。私は積極的に賛成しました。議案に付された市長の意見書にも大きな問題があると考えます。市長は、市長選の公約の一つとして長年に亘り市民から期待されていた、中心市街地活性化事業の取り組みを揚げて信任されたので、国の社会資本整備総合交付金(旧まちづくり交付金)及び合併特例債を活用することが最良であると判断したと言います。

<私の意見> 事業が国から認定され、合併特例債が使える今が最大の好機という点では私も同感です。特に大手前をどうかしたい気持ちは、市長と同じです。私も、中心市街地活性化基本計画の全てが無駄とは発言していません。それでは、歴史資料館建設や(仮)城下町観光交流館構想は、市民が市長を選ぶ基準になったのでしょうか?歴史資料館建設予定地の地上建造物の買取は19対20で議会は否決しました。



子供達が安心して暮らせる
住みよい佐伯を残すため
ごとう幸吉は突進!します

第2回 是非、ご参加下さい!
後藤幸吉の市政報告会
開催のお知らせ
日時 4月24日(日) 19:00~
場所 和楽 大会議室

市長は住民投票に反対の理由として「市民には十分説明しており、議会にも報告している」と言いますが、事実と反します。反論致します。多くの市民は中心市街地活性化の事業を理解しておりません。

特に利用者が佐伯市民である大手前は勿論のこと、歴史資料館や(仮)城下町観光交流館のことも、計画の中身を知らない人が多いと思います。市議会も報告は受けておりますが、その都度規模などが変わり、地域開発調査特別委員の私でさえ、大手前の将来像が見えません。

「愚かな」事業計画

市民無視 (仮) 城下町観光交流館整備事業 (約2億8千5百万円)

| 事業名、内容及び実施時期 | 実施主体 | 目標達成のための位置付け及び必要性 | 支援措置の内容及び実施時期 | その他の事項 |
|--|------|--|---|--------|
| ●事業名 (仮)城下町観光交流館 ●事業内容 旧つたや旅館を購入して、観光の拠点等として整備する。 ●実施時期 H23～25年度 | 佐伯市 | 観光客のためのビジターセンターとしての機能を配置し賑わいの創出を図る。 観光の拠点等を整備し、来街者が安心して立ち寄り、ニーズにあった情報や特産品等を得られるようにするためにも必要な事業である。 | ●支援措置名 まちづくり交付金 ●実施時期 H23～25年度 | |

(佐伯市中心市街地活性化基本計画 P.103)



▲外観

誰が責任を取るのか？

私は財政を考えれば、今ある施設を十分に活用すべきと思っています。平成16年に観光交流館として活用が検討された経緯がある旧山中邸跡地(佐伯市所有)にトイレのある東屋風の建物を造れば、**3,000万円程度で完成**します。

私は本会議や委員会などで、執行部に見直しをするように求めてきましたが、全然耳を貸しません。3月8日の一般質問の中で(仮)城下町観光交流館の来場予定数を質したら、年間25,450人と答えています。**おかしいと思いませんか？** 50m程先の、観光客が大勢来るはずの国木田独歩館でさえ、開館以降の8年間で、年間平均5,263人程です。また、市長が欲しがっている歴史資料館(13億)の来場予定者数は、**年間12,000人～15,000人**とされています。**実際にはこんなに来るとは到底思えません。**何を根拠にこのような数値を掲げているのか、甚だ疑問です。こんな人達が佐伯の街づくりを計画しているのです。

佐伯市は日田市豆田地区の建物を購入しなかった日田市 中津城を購入しなかった中津市を見習え！！

既存施設の年間の入場者数 (単位:人)

| | 平成21年 | 平成22年 |
|---------|-------|-------|
| 国木田独歩館 | 6,407 | 6,305 |
| やわらぎ記念館 | 6,547 | 6,758 |

昨年4月29日から1週間の入場者 (単位:人)

| | | | |
|---------|-----|--------|--------|
| 国木田独歩館 | 237 | 道の駅かまえ | 12,235 |
| やわらぎ記念館 | 81 | 道の駅やよい | 16,897 |
| | | 道の駅 宇目 | 15,101 |

今ある施設は大事にしたいと思いますが、箱物より葛港、佐伯湾を活かし、観光客が来たくなるような街づくりを希望する人もいます。

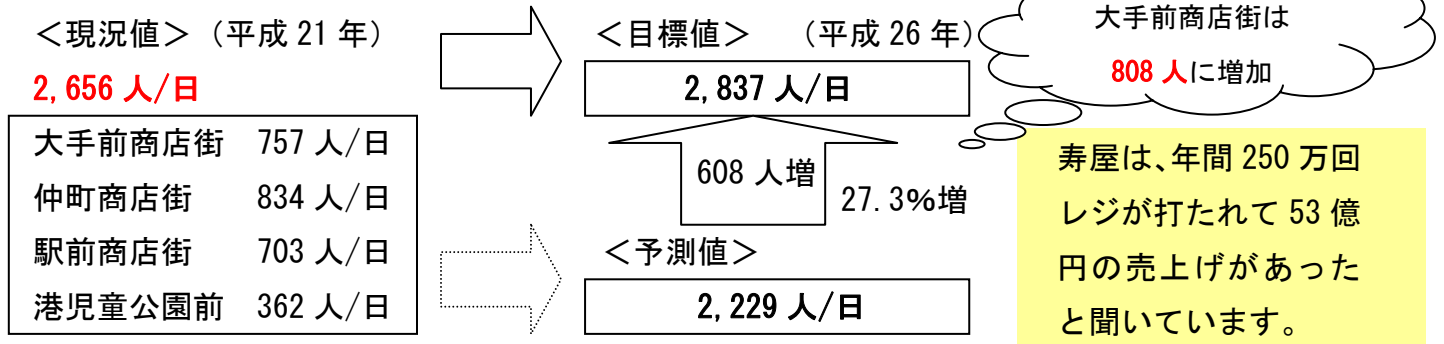
それでも・・・

佐伯市に歴史資料館建設を望みますか？ 規模を縮小したらどうでしょうか。

20年～25年後には、佐伯市の人口は5万人を割ると予想する人もいます。高速道路の開通で大分、福岡へ買い物に行く人が増えています。リバーサイドタウン・コスモタウンが郊外に出来ている状況で、大手前が昔のような佐伯の中心になるのかと心配する市民は多いのです。

大手前再開発計画の目標と試算に疑問!?

大手前再開発事業(51億)について、佐伯市中心市街地活性化基本計画P.67により打ち出されている数値目標を見るだけでも、このままでは大変危惧される計画であることが浮き彫りになります。



本計画が実現した場合でも、「道の駅かまえ」の年間売上である6~8億円程度の計画が、果たして民間複合ビル内の商店を養う事ができるのか、**当初からの見込みがこの程度であれば、財政面での採算性を疑問視せざるを得ません。**膨大な予算を掛ける割には経済的効果が小さいのです。

問題点が多い再開発計画

大手前再開発計画は、佐伯市が区画整理事業を、組合が再開発事業を行うという、非常に難しい事業であると言えます。大きな建物を作りたがる印象が否めない現在の再開発計画は、本当に将来を見据えたものとは到底考えられません。例えば、大手前を繁栄させるためには、船頭町、池船方面からの道路が必要だと思えます。

それと、西田病院跡地の利用方法も考える必要があると思えます。大手前にはコンベンションホールではなく、歴史資料館を併設した文化会館を造れば良いと思えます。

① 元々、この計画は誰が計画したものなのか?

中心市街地活性化協議会の会長が所属する商工会議所は、保留床の買取を拒否しています。(800㎡ 178,000,000円)

② 既に大手前に関する業務委託料は、平成13年度より9.260万円支払われてはいるが、現状の絵に活かされていません。

③ 区画整理、再開発組合が認可されるまでも問題が発生すると思われまます。

④ 今回の基本構想が公開された後も大きな変更があり、報告はその都度受けていますが、完成するまでは大手前地区がどの様になるか、姿が見えません。

⑤ 組合が立ち上がれば、私達議員はチェック出来ません。

佐伯市が一番の地権者であるので、その財産を無駄にしてはなりません。

| |
|--------------------------|
| 歴史資料館をつくる |
| 佐伯には歴史資料が多い |
| 三余館も使う |
| 三余館は利用者が多い |
| 大手前のコンベンションホールに三余館の機能を移す |
| 各団体も同居入居 |
| 観光協会・商工会議所街づくり会社 |
| 大きな公共施設を建設 |

安心？ 元気？ 飛躍？よりも「安全な街」を

今回の東日本大震災の被災者の皆様には、重ねて心からお見舞いを申し上げます。

これほどの大津波は誰も予測ができなかったかも知れませんが、翻って私どもの郷土のことを想像すると、空恐ろしくなりはしませんか？佐伯市は果たして「安心・元気・飛躍の街」なのか？美しいリアス式海岸を持ち県内漁業生産の半分をまかなう佐伯市は、今回の東北地方と瓜二つのようです。この大災害を教訓にして、早急に防災対策を講じるべきです。防災マップの見直し、広報、避難場所の総点検と建設、誘導路の確保、災害弱者の把握など、やるべきことは山ほどあります。

どんな効果があるのか今だにはっきりしない、「中心市街地活性化事業」などに大金を注ぎ込むのではなく、「地震・津波」を想定した「防災都市造り」に転換するべきです。

市民の意見を聞かずに、今回の事業を強行するのではなく、「安全な街づくり」を目指した都市基盤整備事業推進の方向に転換し、それを支える行財政改革を一段と推し進めるべきだと考えます。

市民が安心でき、満足し暮らせる佐伯市にするべきです。

徹底した行財政対策を！

市民の声は議会に届かない！宮崎県日南市では昨年12月、今春実施の市会議員選挙の定数を22議席（現在は合併特例で42議席）に削減してほしいと自治会が有権者の51%の署名を集め、住民による直接請求をしましたが、議会は否決しました。新聞等によれば、自治委員会会長さんは「議員は市民の声をどう考えているのか、情けない。今のままでは北海道夕張市のようになってしまう」と落胆したそうです。私は、1月12日に日南市役所に勉強に行き、会長さんと職員の方にお会いしました。席上、佐伯市議会基本条例の話が出て、随分褒めていただいたのですが、なんのことはない、2月の臨時議会では佐伯市議会も市民の声を無視してしまいました（賛成7人）。

3月31日に、佐伯市自治委員会連合会より、佐伯市議会の定員を24議席以下にして欲しいと要望書が出ています。議会内でも議会改革調査特別委員会が勉強中で、12月には定数に対して結論が出ると思いますが、私は自治委員会案に賛成です。

今回の様な事業を強行するなら、議会も市職員ももっと血を流すべきです。財政が良くなったという人もいますが、中央の政権が選挙に勝つ為？予算をバラ撒いたからです。仮に東日本大震災がなかったとしても、約1,000兆円を超えるような借金のある国を当てにすることはできません。市職員の数、給料もしくは総人件費他の2割を削減し、各補助金も見直すべきなのです。

後藤幸吉の第2回市政報告会

日 時 平成23年4月24日（日）

開演 19:00～（受付 18:00～）

場 所 和楽 大会議室

お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい！！

報告会では、本紙の内容他をより分かりやすく皆様にご報告させていただきます。

私への手紙や電話はご連絡先を教えてください。

そうでなければ対応できません。

後藤幸吉公式サイト

<http://www.goto-koukichi.com/>

